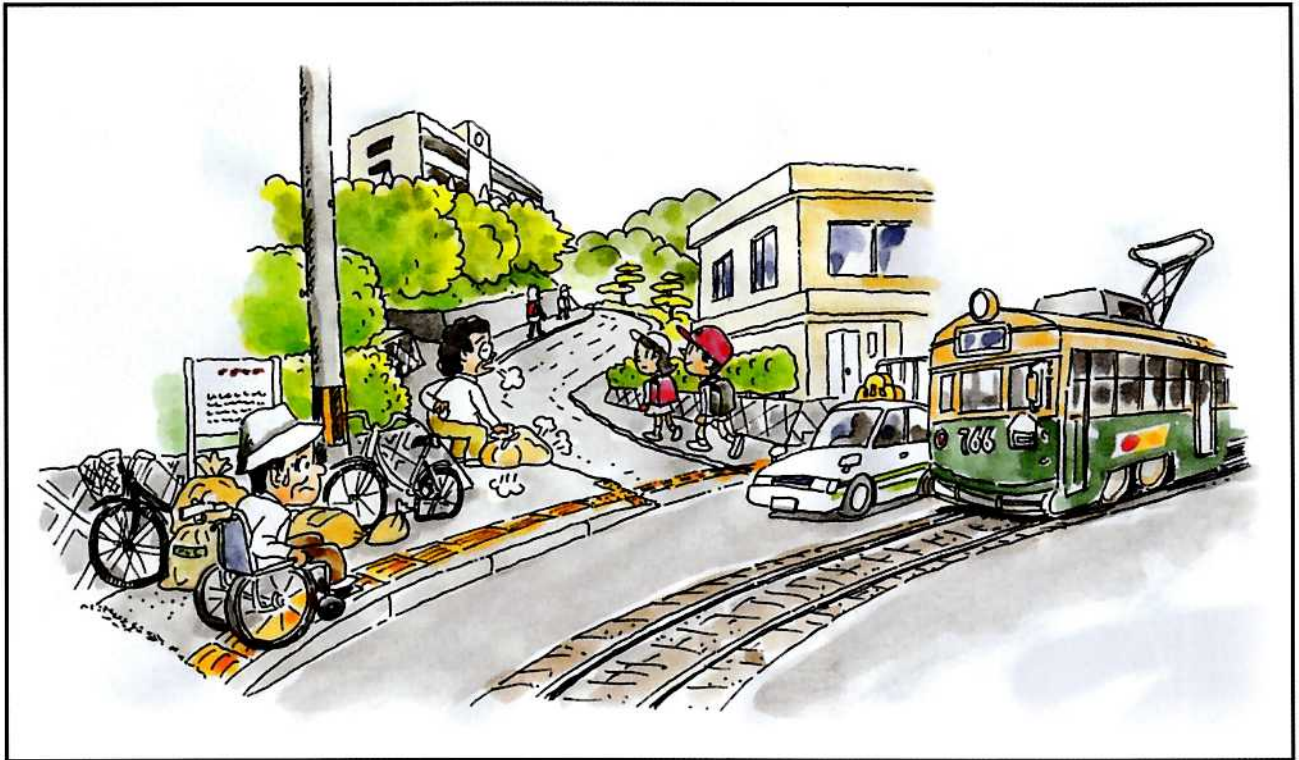
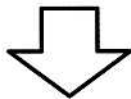


# あなたの“やさしさ発見!”

～この絵から感じることを言葉にしてみてください～



この絵を見て、  
気づいたことは何ですか？



.....

.....

.....

.....

.....

.....

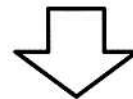
.....

.....

.....

.....

これは、“ほっとけん!”  
あなたなら、どうしますか？



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



# 私たちが、大切に思っていることです。 一人ひとりの心に“やさしさ”の種をまき、育てていきましょう!



## 1. 望ましい人間観

あなたのまわりに、障害児・者、認知症の高齢者、不登校の子ども達などをいたずらに好奇の目で見たり、背を向けたりする人はいませんか。これは、知らないことからくる先入観や、どう接していいかわからないことによるものです。偏見、特別視、誤った優越感などは、人間の歴史、社会、理性などに関する正しい知識、理解が不足していることから起こります。幸せな暮らし、社会にするためには、一人ひとりが望ましい人間観を育てることが大切です。

### (1) いろいろな人がいることを理解し、認め合うことの大切さ

地球上にはさまざまな人が生活しています。そして、肌の色、生まれた土地、言葉、生活習慣などが原因で、戦争や暴力、差別など悲しいできごとが多く起こっています。こうした悲しいできごとは、私たちの身近にもあります。

### (2) 障害について正しく理解することの大切さ

自分で好んで心や体の障害、認知症、学習障害などになる人はいません。また、何かの罰や宿命などの結果でもありません。障害があるなしという見かけではなく、その奥にあるそれぞれの“いのち”のあるがままを肯定する感性と理性に導くことが大切です。

### (3) 自立し、社会とつながって生きたいという願いを理解することの大切さ

私たちは、いろいろな人たちとのふれあいを通して感情が豊かになり、生きることの充足感や、生きがいを感じます。社会とつながって暮らすということが人間本来のあり方なのです。障害児・者、高齢者などを隔離するような社会のあり方は、望ましい姿とはいえません。誰もが、社会のなかで自立し、人とふれあいながら、社会生活をおくりたいと思っています。

## 2. 福祉の心

福祉の心は、人と人、人と社会とのかかわり方の基本です。社会全体が共有すべきものなのです。私たちの日々の暮らしで出会ういろいろな場面が、福祉の心を育てる場になります。

### (1) 役に立つことのよろこびを

人は、多くの人との関わり合いの中で生きています。役立つことの喜びを体験し知るとは、関わり合いを実感させ、それを肯定し、自分やまわりの人、社会への前向きな態度を養います。多くの人に役に立つことの喜びを知ってほしいと思います。

### (2) 想像できる力、思い合う心を

相手の立場に立って考え、相手の心の動き、よろこび、悲しみなどを想像できる力を養うことが大切です。日常の出来事を使って、他人の心、状況などを想像し、思い合う心を育ててほしいと思います。

※社会福祉法人広島市社会福祉協議会「福祉教育ガイドブック」より



## このシートを使って下さい。 “ほっとけん!”を、丈夫な大木に育てるために。



### ヒント1 この絵のなかの“ほっとけん!”

狭い歩道に置かれた自転車 歩道を占拠している家庭ゴミ 忙しそうに走っている車や電車 車椅子のおじさん 荷物を持ったおばあさん 坂道 信号 段差のある歩道…など。

### ヒント2 “車いす体験プログラム”のポイント

車椅子を使っているのはどんな人か、車椅子の役割・機能、使う人の気持ちなどを、この絵をヒントに想像してみましょう。そして、自分たちにできることを考えてみましょう。

### ヒント3 “高齢者疑似体験プログラム”のポイント

「年をとる、高齢になる」と身体の機能がどんな状態になるかを考えてみましょう。疑似体験グッズを使って、「日常生活のし辛さ、不自由さを感じてください。そして、感想を出し合い、そこからどんな気持ちが生まれたかを話し合ってみましょう。

### ヒント4 “ほっとけん!”の心で見直すと…いつもと違う

“ほっとけん!”の心で、友だちや家族のことを想像してみましょう。いつもと違う、友だち、家族の顔が思い浮かびませんか。まわりのみんなが、あなたの“ほっとけん!”を待っています。

### ヒント5 “ほっとけん!”が、お互いが楽しくなる関係作りの出発点

“ほっとけん!”と思うのは、ほかの人のことを感じたり、想像できる力があるからです。その力を養うことが、より良い人間関係づくりにつながっています。“ほっとけん!”気持ちや行為を認め、ほめることは、“ほっとけん!”を育てる栄養素のひとつです。